

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年2月20日（木）

2 確認箇所

覆土式一時保管施設（一時保管エリアL）（図1）

3 確認項目

覆土式一時保管施設（一時保管エリアL）解消作業の状況

4 確認結果の概要

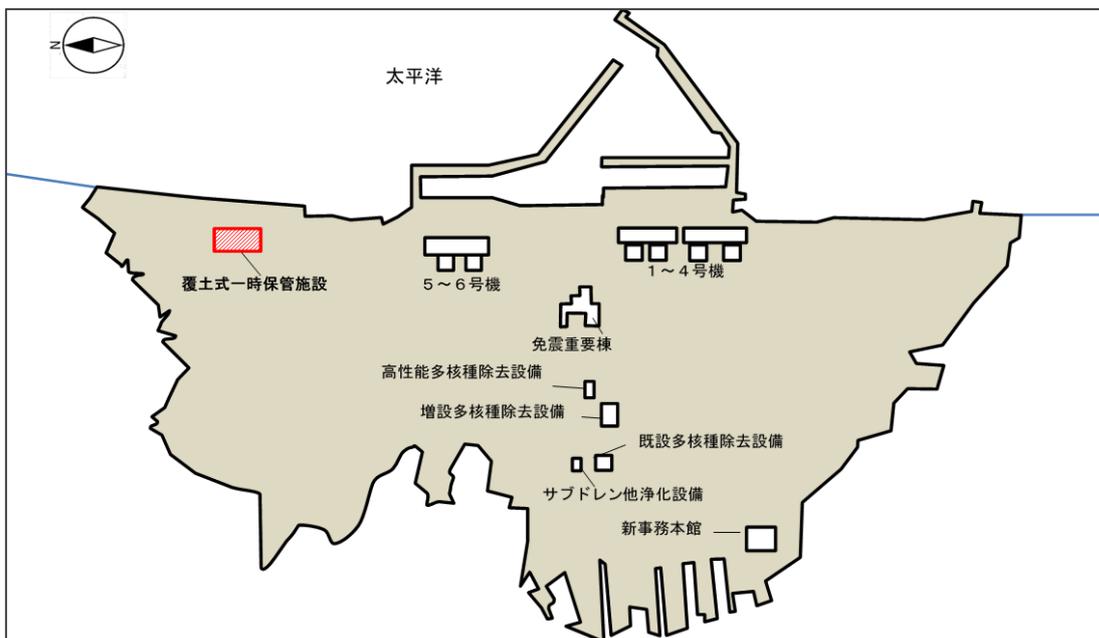
東京電力HDは、令和10年度中の瓦礫等固体廃棄物の屋外一時保管解消に向け、覆土式一時保管施設※（一時保管エリアL）に一時保管された瓦礫類を取り出し、金属容器へ収納した後、固体廃棄物貯蔵庫の保管を計画している。

当該エリア内には、第1～第4槽まで計4つの一時保管槽があり、今般、第4槽における第2層目（地中に埋設された瓦礫類を覆う覆土層が3層により構成されている。）の遮水シートが撤去され、覆土及び大型土のうの撤去作業が進められていることから、その進捗状況について確認した。（前回確認：令和6年11月27日）

- ・第4槽の中間部において、重機を使用した覆土及び大型土のうの撤去作業が進められていた。（写真1）
- ・覆土及び大型土のうの撤去が行われている箇所の東側には、ダストモニタの吸引口が設置され、ダストモニタによる放射性粒子状物質の監視が行われていた。（写真2）
- ・第4槽の北側の一部には、放射線遮へい用のコンクリート壁が設置されていた。（写真3）
- ・覆土撤去に伴う空間線量変動監視のための線量表示器は0.3 μ Sv/hを示しており、前回確認時と同じ値であった。（写真4）
- ・現場確認時において、瓦礫やシート等の飛散等の異常は確認されなかった。

※ 覆土式一時保管施設

高線量（ ~ 30 mSv/h）の金属やコンクリート等の瓦礫類に覆土遮へいを施した一時保管エリア。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
第4槽第2層目中間部における覆土
及び大型土のうの撤去状況①
(北東側から撮影)



(写真1-2)
第4槽第2層目中間部における覆土
及び大型土のうの撤去状況②
(北東側から撮影)



(写真 2-1)
ダストモニタ吸引口の設置状況
(北側から撮影)



(写真 2-2)
ダストモニタ及び吸引ホースの設置状況
(北側から撮影)



(写真 3-1)
第 4 槽北側におけるコンクリート壁
の設置状況①
(北西側から撮影)



(写真 3-2)
第 4 槽北側におけるコンクリート壁
の設置状況②
(西側から撮影)



(写真4)
線量表示器の設置状況
(当日の計測値：0.3 μ Sv/h)
(北西側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。